

マンモグラフィ装置を新規更新しました

2024年8月に最新のマンモグラフィ装置（乳房撮影装置）FUJIFILM社製AMULET SOPHINITYを導入しました。マンモグラフィ装置に必要な高精細画像と低被ばく線量が両立し、また乳房を挟む減圧機能により痛みを軽減出来る仕様となっています。 *痛みの感じ方には個人差があります

◆ 特徴

初期乳がんの所見である微細石灰化を高い描出能で表現します。国内の基準である 診断参考レベルに対して、1/2以下の被ばく線量で撮影ができます。

乳房の厚みが変化しない範囲で圧迫圧を減圧する機能です。通常の圧迫方法よりも最大圧迫圧となっている時間を短縮します。

◆ 女性技師がマンモグラフィー検査を行っています

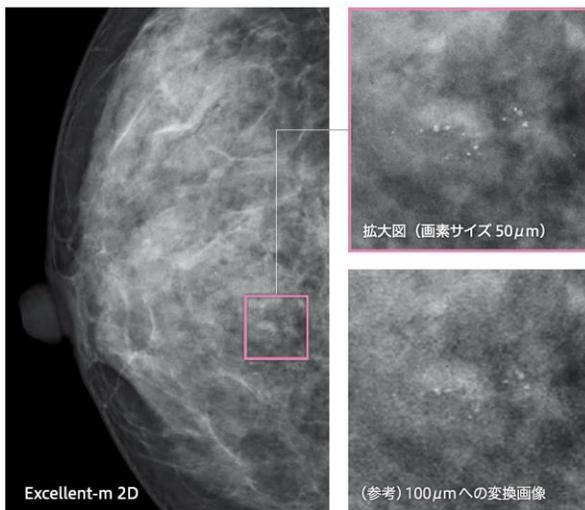
女性技師が撮影しているため、細かい配慮や寄り添った検査を心掛けています。

特定非営利活動法人・日本乳がん検診精度管理中央機構が定めた「検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師」の資格保有者も在中しています。



◆ 画素サイズ 50 μ m \times 50 μ m、2802万画素の高精細画像

初期乳がんの所見である微細石灰化を高い描出能で表現します。

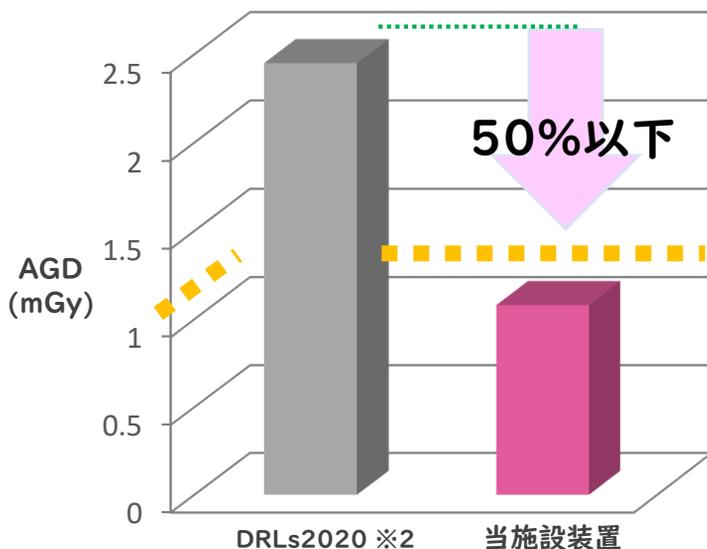


◆ 低い被ばく線量を実現した装置

約1mGy (ミリグレイ) での撮影が可能です※1。
国内の基準である 診断参考レベル※2に対して、1/2以下の被ばく線量で撮影ができます。

※1: 圧迫乳房厚 40mm 相当での被ばく線量

※2: 診断参考レベル Japan DRLs2020 PMMA40mmにおける平均乳腺線量 2.4mGy



◆ 圧迫の痛み低減

乳房の厚みが変化しない範囲 (+3mm) で圧迫圧を減圧する機能です。
通常の圧迫方法よりも最大圧迫圧となっている時間を短縮します。

